



第2学期を終えて



新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、いわき市内に「まん延防止等重点措置」が適用されている中で始まった第2学期でしたが、本日、83日間の学習活動を終え、終業式を迎えることができました。

9月30日まで続いた「まん延防止等重点措置」の期間、並びに同措置解除後10日間の「リバウンド防止」期間中は、様々な教育活動を延期・中止することを余儀なくされ、保護者の皆様方には何かとご心配をおかけすることとなり、大変申し訳ありませんでした。また、各種行事を楽しみにしていた子ども達に、とても残念な思いをさせてしまったことを何より心苦しく思っております。

しかし、そのような中でも、子ども達は地道に学習活動に取り組み、着実に力をつけてきました。そして措置解除後には、日々の授業はもとより、学習発表会や修学旅行・見学学習、チャレンジ600等の各種行事において、成長した姿を存分に見せてくれました。

このように、コロナ禍の中でも無事に、そして有意義に2学期を終えることができたのも、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援のおかげだと思っております。ありがとうございました。

現在、新型コロナウイルスの感染は小康状態にはありますが、オミクロン株の急激な感染拡大が懸念されており、まだまだ油断することはできません。3学期以降も決して気を緩めず、子ども達の安心と安全を第一に、子ども達一人一人が輝ける学校づくりを全職員一丸となって進めていきたいと思っております。

今後とも、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

12月も本物体験

12月14日(火)、プロのアーティストにお越しいただき、「布を使った紙芝居」を全校生で鑑賞しました。これは、普通の紙芝居とは違って、いろいろな布を巧みに使いながらお芝居をしたり、歌を歌ったりしてストーリーを作っていくものです。

お話の前には、布でイカやタコ、クラゲを作って見せていただき、子ども達は大喜びでした。その後、2つの「布を使った紙芝居」を披露していただきました。アーティストの方が繰り広げるコミカルな演技を見ながら、会場は終始笑いに包まれていました。この鑑賞会を企画してくださったブックママの皆さま、ありがとうございました。



また、12月20日(月)には、3～6年生が箏と尺八による演奏を鑑賞しました。お二人の奏者が奏でる美しい音色を聴きながら、日本文化のよさを改めて感じることができました。

鑑賞会の後には、箏の先生に指導していただきながら、全員が箏の演奏体験をしました。最後には、全員で「さくらさくら」を弾くことができるようになりました。



このような「本物体験」を通して、子ども達の豊かな心を育む情操教育を推進しております。